

全世界の1万台近いPC・サーバの状態をリアルタイムに把握 シャドーITを根絶し、セキュリティのさらなる強化を図る



HIS

株式会社エイチ・アイ・エス

業種
旅行業

従業員数
連結1万849名(2022年10月期)

本社所在地
東京都港区

導入ソリューション
Tanium Cloud, Core, Discover, Patch,
Deploy, Asset
Tanium エンタープライズサービス

Taniumの導入効果

- あらゆる情報をTanium Cloudに一瞬で吸い上げてくれるスピード
- セキュリティチームと現場の作業量を大きく削減し、高いROIを実現
- シャドーITの可視化

株式会社エイチ・アイ・エス(以下、HIS)は、長年利用してきたグローバルIT資産管理ツールをTaniumに移行し、海外関係会社を含むグローバル展開を実現。すべてのPC資産をTaniumで可視化できるようにしたほか、オンプレミスシステムのWindows/Linuxサーバも段階的に監視対象に追加している。

現場にとって負荷の大きなツールからTaniumへ移行

HISは、海外・国内旅行の企画販売を行う大手総合旅行会社だ。日本国内のみならず、海外60ヶ国に158拠点(2023年1月時点)を持ちグローバルにビジネスを展開している。

セキュリティが重視される現在、広範な国・地域をまたぐビジネス環境において、IT資産管理は重要なタスクになる。同社でも、2010年代後半にIT資産管理ツールを採用し、グローバル拠点のすべてのPC資産を包括的に管理する体制を構築しようとした。ただ、一斉に全世界を統合するプラットフォームを導入することは困難だった。そこで、優れたIT部門を有し、地域共通のシステム基盤を利用している欧州では独自のソリューションを採用し、その他の地域を日本が統括すると決定。日本において、低コストに導入・運用できる製品を採用することになった。

日本が統括する地域ではその製品を長く使うことになるのだが、使って初めてわかる多くの課題点があった。最大の課題は、パッチやその他ファイルの配信が遅いこと。海外だけで対象拠点は150近くあり、関係会社を含めると対象PCは1万近い数になる。カタログスペックでは、その規模の

配信が可能でも、実際に運用してみると、PCをシャットダウンするタイミングや時差、ネットワーク環境などさまざまな要因があり、1か月をかけて数百台に配信できる程度の性能しかなかった。また、各PCにインストールされているOS・アプリのバージョンや詳細をリアルタイムかつ明確に把握することも難しかった。



本社情報システム本部
ITセキュリティグループ セキュリティチーム 石谷 進氏

Taniumのスピードは衝撃的でした。配信もアップデートも高速で、あらゆる情報をTanium Cloudに一瞬で吸い上げてくれるイメージです。

本社情報システム本部
ITセキュリティグループ セキュリティ
チーム 石塚 直己氏

本社情報システム本部 ITセキュリティグループ セキュリティチーム 石谷 進氏は、「結局は社員に時間を割いてもらいました。私たちが用意したexeファイルをダウンロードいただき、手動で更新してもらう必要があったためです」と話す。

この状況を打開できるソリューションが必要だった。HISは、市場にあるツールの中から6~7に絞り、カタログスペックだけでなく、運用に入ってから“実用性”を重視して詳細を比較・検討。Taniumに白羽の矢を立てた。稟議書には、現場に依頼している作業内容とそれにかかる時間の総計、Taniumが期待どおりの働きをしてくれる場合に削減できる仕事量も記載した。

「コスト面も重視しておりましたが、“ROIが十分なら、セキュリティについては、ニーズを確実に満たすツールを選ぼう”と判断し、導入にいたしました」(石谷氏)



本社情報システム本部
ITセキュリティグループ セキュリティチーム 石塚 直己氏

本社情報システム本部
ITセキュリティグループ セキュリティチーム 山崎 愛祐美氏

3週間のPoCで手ごたえ。期待どおりの成果を得る

まずは社内のメンバーでPoCを実施した。本社情報システム本部 ITセキュリティグループ セキュリティチーム 石塚 直己氏は、「マニュアルに従って進めたのですが、Taniumのスピードは衝撃的でした。配信もアップデートも高速で、あらゆる情報をTanium Cloudに一瞬で吸い上げてくれるイメージです」と話す。

限定した環境でのPoCだったが、わずか3週間という短期間で「これなら大規模環境でも十分にやれる」という手ごたえを得た。2022年8月に正式に契約し、現在は欧州を除くすべての拠点、および関連会社をTaniumの管理下に置いている。同時に、サーバの管理も進めており、マシン特有のリソースやセキュリティなどの事情をクリアしながら、現時点で約8割を管理できるようになった。

石谷氏は、「期待は大きかったのですが、Taniumはその期待どおりの成果を上げてくれました」と話す。契約後は、エンタープライズサービス*1も活用。これは、Taniumのエキスパートが常にサポートしてくれるサービスだ。石塚氏は「Taniumの細かな設定はもとより、Tanium側の問題でない部分に起因する現象で疑問点があった場合に、“ここがおかしいかもしれません”と予測を提示してくれるところまでやってくれます。本当に助かっています」と話している。

シャドーITを根絶し、全社的なセキュリティを担保

HISは今後、TaniumとSIEM(Security Information and Event Management)ツールを連携し、さらなるセキュリティ強化を図る構想を描いている。また、残る欧州についても、時期を見てグローバル共通のサイバーハイジーン環境を作り上げることなど検討しているという。そして、まさにいま取り組んでいるのが、シャドーITをあぶり出し、その根絶を図ることだ。

Taniumの導入により、“シャドーITのあるネットワーク”は顕在化された。ITセキュリティグループが最も問題視するのは、部門導入されたNASだ。たとえば、マーケティング部門がファイルサイズの大きい画像や動画データを保存・共有するために使用するケースは許可できる。しかし、顧客の個人情報保護の観点から、業務ファイルの保存場所になっているNASには対処が必要だ。

そのために、現場の担当者で連携しながらNASを使用するプロセスを見直し、企業としてセキュリティを担保できる手段への移行を進めていく。NAS以外にも登録外のスマートフォンも含めた野良PCへの対策も進めている。

*1 エンタープライズサービスは Taniumのコンサルタントがお客様のTanium導入、運用をサポートする有償支援サービス

お問い合わせ



タニウム合同会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6-4 常盤橋タワー25階

 <https://www.tanium.jp>
 jpmarketing@tanium.com